

## 令和3年度横浜市予算代表質問

皆様お元気ですか！

新型コロナウイルスに対応いただいている医療従事者の皆様をはじめ、エッセンシャルワーカーの皆様にご協力により円滑に実施されるよう、国も地方も全力で取り組んでいるところです。詳細が決まりたい横浜市から通知されますので、もう少しお待ちいただければと思います。緊急事態宣言が解除されても感染予防に努めることに変わりがない状況ですが、少しでも前向きなことを見つけて生活したいと思えます。私は夕飯を自宅で玄米と野菜を中心の食事にしてから5キロ痩せました。桜木町の新しい市役所までは毎朝電車で行きますが、テレワークの方が増えていることから電車は、かなり乗客が減っています。運動不足を補うために移動はエスカレーターをなるべく使わず、階段を利用して歩きます。階段を使用する人は少ないので密を避けることもできます。ストレスを溜めず、小さなことでもプラスに捉えて楽しむこともウィズコロナを過ごす秘訣なのかもしれません。

さて、2月19日の横浜市会第一回定例会で、自民党横浜市議団を代表して市長に質問しましたのでご報告いたします。新年度予算は一般会計2兆73億円となり昨年度に比べて15%増加し、年度当初の予算としては初めて2兆円を超えました。市税が大幅に落ち込む状況の中、新型コロナウイルスの対策費用が1割強を占め、財政目標を変更し計画を大幅に上回る赤字地方債

を発行して財源を確保しています。コロナ対策に全力で取り組み、市内経済を立て直し、コロナ後を見据えて、横浜の将来に向けた施策をしっかりと行わなければなりません。横浜市議員出身の菅総理が掲げる我が国の「脱炭素社会」「デジタル化社会」の実現に向けて、横浜市が全国の自治体のリーダーとなるよう、取り組んでほしいと市長に質問しました。



新しい本会議場での初質問

以下質問項目です。

- ・令和3年度予算案について
- ・コロナ禍における市政運営
- ・新型コロナウイルス感染症への対応
- ・脱炭素化で世界をリードするSDGs 未来都市横浜の挑戦
- ・横浜港のさらなる国際競争力の強化
- ・Y-PORT事業
- ・国際園芸博覧会及び旧上瀬谷通信施設のまちづくり
- ・デジタル化の推進
- ・マイナンバーカードの交付
- ・GIGAスクール構想
- ・特別養護老人ホームの整備及び待期間短縮に向けた取組
- ・敬老特別乗車証制度
- ・障害者の移動支援施策
- ・中学校給食
- ・災害時における自助共助の推進

### 古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)  
自民党横浜市議員団・無所属の会 団長  
横浜市会FCキャプテン  
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事  
旭区食品衛生協会顧問/旭区サッカー協会顧問  
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問  
旭区剣道連盟顧問  
2018横浜マラソン完走 5時間8分

- ・消防団の充実強化
- ・横浜特別自治市及び感染症対策
- ・企業版ふるさと納税
- ・横浜経済の活性化
- ・イノベーション都市横浜の推進
- ・連続立体交差事業の推進
- ・将来を見据えた地域交通
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック
- ・ラグビーワールドカップレガシー
- ・市民の読書活動の推進
- ・横浜イノベーションIR（統合型リゾート）
- ・職員の意識改革

市長からはさまざまな施策に前向きに取り組むことを答弁いただきましたので、主な事業についてご報告いたします。

### 鶴ヶ峰駅付近の連続立体交差事業

地元旭区の重要な事業としては、鶴ヶ峰駅付近の連続立体交差事業や国際園芸博覧会などがあります。連続立体交差事業は、鉄道を地下化することにより、西谷駅から二俣川駅間の10本の踏切を除去する事業で、事業費は全体で約740億円。国費は約400億円を見込んでいます。事業着手は令和5年度を目処に精力的に事業を進めていただき、地域の一体化や安全安心な通行環境の構築は地域の悲願です。スピード感を持って早期事業着手に向けて事業の前倒しを検討すべきと市長に強く申し上げ、市長からは早期着工できるよう努力すると力強い答弁をいただきました。この事業は街が生まれ変わるインパクトがあります。引き続き、早期に完成できるよう行動していきます。

### 2027国際園芸博覧会

国際園芸博覧会も事業費は約600億円の内、入場料収入で賄う運営費は360億円、建設費は240億円で国費は約80億円を見込んでいます。瀬谷駅から花博会場最寄り駅の仮称上瀬谷駅までの新交通システムの整備費は約410億円(車両費、車両基地整備費を除く)程度かかることが予想されます。園芸博覧会の後はテーマパークやスポーツ施設など夢が膨らみます。まずは、地元の意向をしっかりと取り入れていただき、国際園芸博覧会を成功させたいと思います。

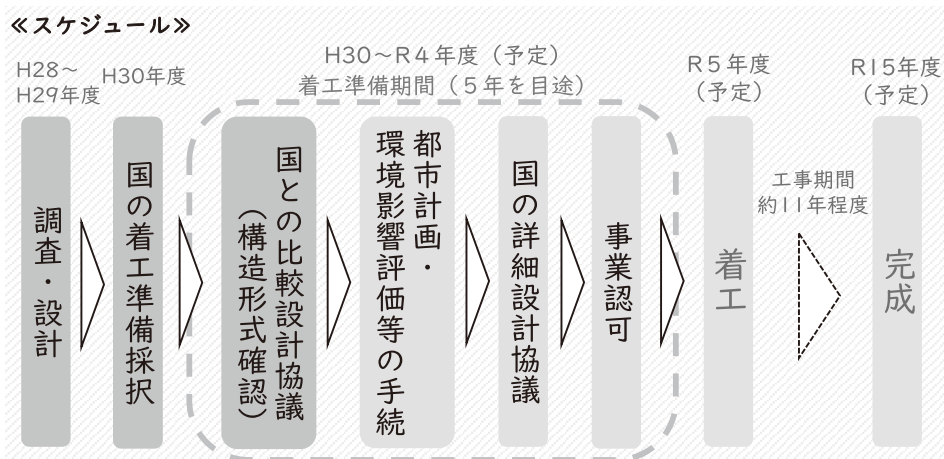
### 国に対しての要望

これらの事業は市の予算だけでなく国費をしっかりと確保することが大変重要です。完成した星川・天王町駅の連続立体交差事業、今後の鶴ヶ峰駅周辺連続立体交差事業も政府与党として菅総理と上田前衆議院議員に大変ご尽力をいただきました。旧上瀬谷通信施設の返還から国際園芸博覧会招致に向けても菅総理と坂井官房副長官には当初よりお力添えをいただきました。汗をかいて実現に向けて努力していただいた人を私たちは忘れてはならないと思います。

今、コロナ感染症対策のために国も地方も厳しい財政状況の中、多額の借金をし、対応に追われています。横浜市の財政局とも議論していますが、国費を確保することは大変です。毎年、横浜市は国に対し、「国の制度及び予算に関する提案・要望」を行なっていますが、菅総理や坂井官房副長官が政府の重要な役割を担っている今こそ、横浜市の提案や要望を実現いただけるよう、私たち自民党市議員も努力しなければなりませんと思います。

横浜市議員 古川直季

## （仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業



資料：横浜市